

緑の回廊（土湯の森）刈払い作業

例年より遅い東北地方の梅雨明け宣言直後の7月30日（水）、夏真っ盛りの強い日差しのもと、地元住民、自然再生実施協議会関係団体、最上総合支庁、戸沢村の方々17名と、最上支署、名高森林事務所、当センター職員10名の計27名で、平成19年度から実施している刈払い作業を行いました。



（作業前の刈払区）



（作業後の刈払区）

自前の刈払機を携え、カンカン照りの中、吹き出す汗を拭いながら作業いただいている姿に、過去8年間の積み重ねた努力が、にじみ出ていました。

皆さんの手際が良いおかげで、作業終了予定時刻より早く終わることができました。



（炎天下の中での過酷な作業）

作業の合間の休憩時間においては、地元の方から最上川スキー場の在りし日の話や、スキー場が建設される前の森林の姿を聞くことができ、感慨深い話を提供していただきました。



（作業後の集合写真）

今後、平成28年度の第2次自然再生再生計画の終期に向けて、この土湯の森を、どのような姿にしていくのか、そして、森林環境教育、森林ふれあい推進等の観点から、利活用の方法等を模索していくこととなります。

そのためには、地元戸沢村や関係機関等の意見を聞き、今後の協議会において方向性を決め、実践していきたいと思っております。